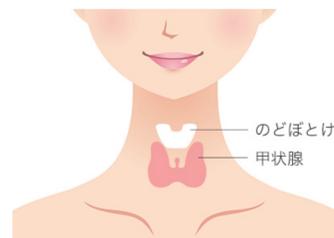


## 「甲状腺の腫大」のキーマッセージ

1. 一度、医療機関（内科）を受診することを推奨します
2. 医療機関では甲状腺機能に焦点を当てた身体の症状の確認や診察、必要があれば血液検査や超音波検査などを行います

### 甲状腺について

甲状腺は、のどぼとけの下にある蝶のような形をした臓器で、全身の代謝を活発にするためのホルモン（甲状腺ホルモン）を分泌しています。



### 甲状腺が腫大することがある疾患

甲状腺が大きくなる疾患として、腫瘍やバセドウ病、橋本病などがあります。これらの疾患は、血液検査や超音波検査などで精密検査により診断することができます。

## 「甲状腺の腫大」と指摘された方へ

健診で診察した医師は視診（見た目）や触診（触った感覚）で、甲状腺の大きさを判断しています。しかし、甲状腺の大きさのみで病的な異常があるかどうかを評価することは困難です。そのため、**甲状腺の腫大を指摘された方は、改めて、甲状腺に焦点を当てた診察を医療機関で受けることが推奨されます。**

#### <バセドウ病>

甲状腺ホルモンが**過剰**に分泌する疾患です。**全身の代謝が上がる**ため、下記の症状が出やすいです。

ドキドキする  
暑がり  
汗をよくかく  
手足の震え  
イライラする  
体重減少  
軟便

#### <橋本病>

甲状腺ホルモンの分泌が**低下**する疾患です。**全身の代謝が下がる**ため、下記の症状が出やすいです。

脈が遅い  
寒がり  
肌が乾燥し、カサカサ  
言葉や動作が緩慢  
眠い、忘れ物が多い  
体重増加  
便秘

共通症状：疲れやすい、手足がむくむ、髪の毛が抜ける、月経異常